

いでまさるくんとりょうくんといいじまさんが
 じょうずでしょうじょうをあげました。それ
 からはじめてのはびょうかいだったので
 どきどきしました。うまくいきました。

しょうじょうつくってくれてありがとう。

K男は、リーダーとして進行を進めるだけでなく、
 上手な児童に手作りの賞状を作った。この活動は
 お互いのよさを見いだすことができる場であった。

イ 活動チェックコーナー

顔写真による係児童の紹介コーナーや表と裏の
 色の違いで活動がチェックできるコーナーを設定
 した。仕事が終了したらカードを裏にし活動を視
 覚的に確認できるようにした。

ウ 用具コーナー

活動に必要な、紙、用具のコーナーも設定して、
 児童が手軽に活用できるようにした。



(活動チェックコーナー)

(3) 変容

① 児童の変容

「何ありません」と書く児童が多かった反省
 記録の内容が、仕事に関することや友人とのかか
 わりの記述になり、継続的な内容や自分の仕事で
 気がついたことが書けるようになってきている。

仕事の面でも、愛のメッセージ係やクロッキー
 係のように、工夫が多くなった。

係活動に対する取り組みが以前に比べると主
 体的になってきている。

② 教師の変容

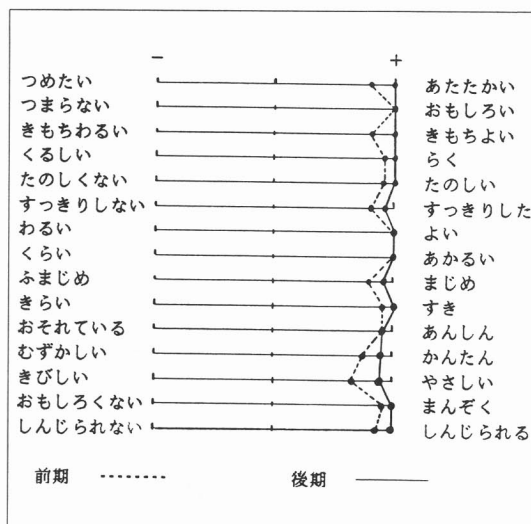
その子だけに通じるような言葉かけを目指した

D教諭の「気づく」への赤ペン入れは、容易では
 なかった。全体的な活動の観察では、具体的な賞
 賛が書けないからである。

「この実践をとおして、児童に対する理解が深
 まった。仕事の内容や児童の内面への言葉かけが
 できた時には、係活動に変容をみることができた。
 一人一人の児童への具体的な言葉かけの大切さ、
 難しさがわかってきた。」とB教諭は、後期の活
 動を振り返り反省している。

③ 「わたしの学級」のイメージの変容

前期と後期を比較すると学級に対するイメージ
 が全体的に+方向へ変容している。



(4) 実践した内容と各視点の関連

内容 \ 視点	1	2	3	4
係の仕事内容の見直し	○	○		
「気づく」の記録		○	○	
係名称の話し合い	○			
新しい係 計画作り	○	○	○	
活動の場の設定		○		
伸びやよい行動の賞賛			○	
教室環境の整備				○

(5) 考察

児童の係活動が主体的になったのは、以下の手